

平成 29 年 11 月 10 日

大 東 銀 行

平成 30 年 3 月期第 2 四半期の業績について

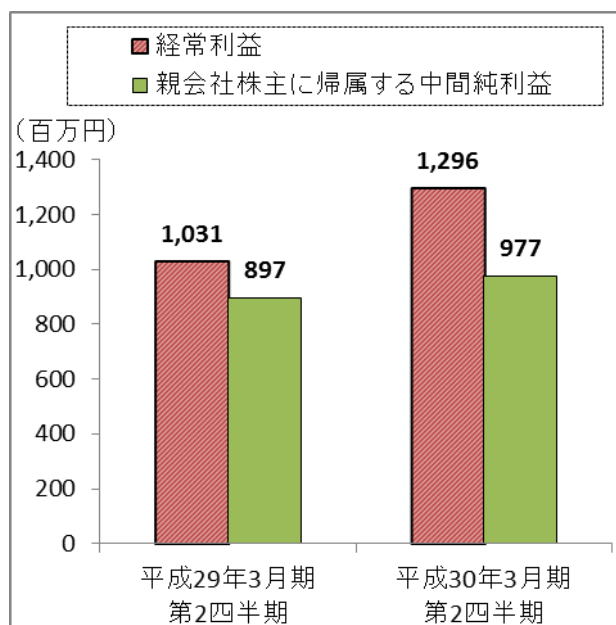
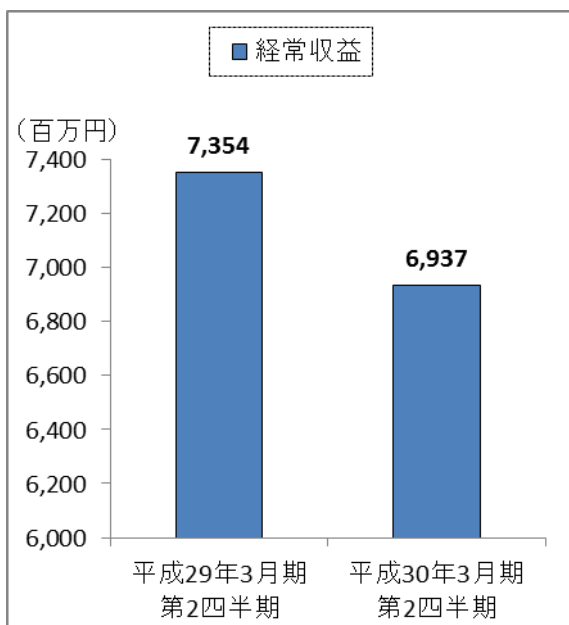
<概 要>

- ① 平成 30 年 3 月期第 2 四半期の連結業績は、前年同期比減収増益の決算となりました。
- ② 経常収益は、預り資産販売の増加等により役務取引等収益は増加したものの、有価証券利息配当金の減少等による資金運用収益の減少を主因に、前年同期比 4 億 16 百万円減少して 69 億 37 百万円となりました。
- ③ 経常費用は、勘定系システムの移行に係る一時費用の減少や経費削減効果に伴う営業経費の減少を主因に、前年同期比 6 億 81 百万円減少して 56 億 41 百万円となりました。
- ④ 経常利益は、前年同期比 2 億 64 百万円増加して 12 億 96 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比 80 百万円増加して 9 億 77 百万円となりました。
- ⑤ 自己資本比率(連結)は、平成 29 年 3 月末の 9.86%から 0.17 ポイント低下して 9.69%となりました。
- ⑥ 開示債権比率(単体)は、平成 29 年 3 月末の 2.54%から 0.13 ポイント低下して 2.41%となりました。
- ⑦ 通期の業績見通しは、中間期の業績等を考慮し上方修正しております。なお、配当金は 30 円(※)の期末配当を予定しております。
 ※平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として、10 株につき 1 株の割合で普通株式の併合を行っております。

1. 損益の状況(連結)

(単位：百万円)

	平成 30 年 3 月期 第 2 四半期実績	前年同期実績	前年同期比	
			額	率
経 常 収 益	6,937	7,354	△416	△5.7%
経 常 利 益	1,296	1,031	264	25.7%
親会社株主に帰属 する中間純利益	977	897	80	8.9%



(参考：単体)

(単位：百万円)

	平成30年3月期 第2四半期実績	前年同期実績	前年同期比	
			額	率
経常収益	6,279	6,718	△439	△6.5%
経常利益	1,251	977	273	28.0%
中間純利益	952	864	87	10.2%

2. 自己資本比率<国内基準>

○平成29年9月末の自己資本比率は、連結9.69%、単体9.35%となり、平成29年3月末比、連結及び単体でそれぞれ0.17ポイント低下しました。

3. 金融再生法による開示債権(単体)

○金融再生法による開示債権(単体)は121億54百万円となり、平成29年3月末比3億69百万円減少しました。また、開示債権比率は2.41%となり、平成29年3月末比0.13ポイント低下しました。

以上